

様式3

令和4年度ふるさと人材・地域づくり推進事業
「持続可能な地域づくり充実事業」実施報告書

| | | | | |
|------|----|-----|----------|--------|
| 学校番号 | 32 | 学校名 | 大曲農業高等学校 | (全)・定) |
|------|----|-----|----------|--------|

実施した内容について次のとおり報告します。

| | |
|--------------------|---|
| テ ー マ | 4 職業としての農業フォーラム |
| 実 施 日 時 | 令和4年12月12日(月) |
| 場 所 | 本校 |
| 参 加 人 数 | 1・2年生218名、外部講師36名 |
| 実 施 内 容 ・ 状 況 等 | <p>【全体会】 オンライン講座 講師：ROSE LABO 株式会社 代表取締役社長 田中綾華氏</p> <p>【分科会】 仙北地域振興局、農業法人、JA全農あきた、 JA秋田おぼこ、若手農家、飲食店、土木建設業者など 1人2分科会を選び、25分ずつ講話を聞き、質疑応答する。</p> |
| 成 果 と 課 題 | <p>全体会では、自分が興味を持った食用バラについて探究しビジネスとして成功させた体験を伺い、アントレプレナーシップの精神を学ぶことができた。できない理由を探すのではなく、前向きに課題を解決していくことの大切さを感じたようだった。</p> <p>分科会では、自ら選んだ分科会だったため、興味関心を持って話を聞いていた。講師の方々の実体験に基づく講話により、農業に関連した仕事が多岐に亘ることや働く心構えなどを学ぶことができた。参加前後の気持ちの変化を5段階で評価してもらったところ、77.9%の生徒が肯定的に変化していた。</p> |



企業の概要を聞く生徒



ドローンシミュレータを体験



最新装置の体験



J A若手職員（本校卒業生）の講話